

つながり

トレーニング

(略案集)



つながりトレーニング① 「聴き方を学ぼう」

ねらい	よりよい人間関係を形成するために必要な、相手も自分も大切にするコミュニケーションの技能や基本的な考え方について学ぶ
学校	〇〇市△△ 中学校
対象クラス	〇年△組
場所	〇年△組 教室

トレーニングの展開

回	学習テーマ	学習内容	学習方法
1	聴き方を学ぼう	体験を通して、相手(話し手)にとって話しやすい「聴き方」とはどのようなものを学ぶ	講義 実習
2	話し方を学ぼう	体験を通して、自分も相手も大切にする「話し方」とはどのようなものを学ぶ	講義 実習・ロールプレイ
3	話し合い方を学ぼう	体験を通して、話し合いにとって大切なことはどのようなものを学ぶ	講義 討議
4	自分をほめよう	自分のよさを見つける体験を通して、「自己理解」の考え方や大切さを学ぶ	講義 実習
5	友達をほめよう	実際に友達のよさを見つける体験を通して、「他者理解」の考え方や大切さを学ぶ	講義 実習

学習展開計画

第 1 回	学習テーマ 聴き方を学ぼう
ねらい	相手(話し手)にとって話しやすい「聴き方」とはどのようなものを体験を通して学び、よりよい人間関係を築くための基礎とする。

準備するもの	学習隊形図	前半【一斉学習】	後半【ペア学習】																				
		教師	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </table>	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">○↓</td><td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">ペア学習 では向かい 合って 実習を行 う</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">机</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">○↑</td><td></td></tr> </table>	○↓	ペア学習 では向かい 合って 実習を行 う	机
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																				
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																				
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																				
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇																				
○↓	ペア学習 では向かい 合って 実習を行 う																						
机																							
○↑																							

アクティビティの流れ

私はこんな人・・・自分と共通点のある友達がいることを確認する。	(10 分)
三つの聴き方・・・3種類の聴き方で会話し、その違いを体験する。	(30 分)
振り返り ...聴き方によって会話の雰囲気や相手への印象が変わることを確認する。	(10 分)

流れ	時間	学 習 活 動	ポ イ ン ト	
アイスブレーキング	10	<p>○私はこんな人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールや方法の説明を聴く。 ・ワークシート「聴き方について学ぼう」の1の表で自分にあてはまるものには○を、あてはまらないものには×をつける。 ・自由に動き、項目の判断が <table border="1" data-bbox="373 472 919 555"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・同じだったら・・・サインをもらって、握手をする。 ・違ったら・・・握手をして、次の人を探す。 </td> </tr> </table> ・活動の感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じだったら・・・サインをもらって、握手をする。 ・違ったら・・・握手をして、次の人を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく取組めない生徒への支援のため、教師もワークシートをもって参加する。 ・数名を指名する。 ・クラスの中には自分と共通点のある友達が複数いることを確認する。
<ul style="list-style-type: none"> ・同じだったら・・・サインをもらって、握手をする。 ・違ったら・・・握手をして、次の人を探す。 				
中心となる活動	10	<p>○三つの聴き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴き方の種類についての教師の実演を交えた説明を聴く。 <table border="1" data-bbox="373 831 919 1160"> <tr> <td> <p>【三つの聴き方】(説明用模造紙②)</p> <p>1. 無反応 相手の話に対して反応を示さずに聴く。</p> <p>2. うなずき 相手の話に対して、うなずいたり、目をみたりしながら聴く。</p> <p>3. かかわり 相手の話に対して、質問や自分の考え等をはさみながら聴く。</p> </td> </tr> </table>	<p>【三つの聴き方】(説明用模造紙②)</p> <p>1. 無反応 相手の話に対して反応を示さずに聴く。</p> <p>2. うなずき 相手の話に対して、うなずいたり、目をみたりしながら聴く。</p> <p>3. かかわり 相手の話に対して、質問や自分の考え等をはさみながら聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協力してくれる生徒を選んでおき、事前に簡単な打合わせをしておく。(チームティーチングが可能ならば、T2と打ち合わせる。) ・実演では教師が聴き手を演じる。話し手(協力者)に3回とも同じ話をしてもらい、「話の盛り上がり方(発展性)」「二人の距離感」が聴き方によってどう変化するかを比較しやすくする。
<p>【三つの聴き方】(説明用模造紙②)</p> <p>1. 無反応 相手の話に対して反応を示さずに聴く。</p> <p>2. うなずき 相手の話に対して、うなずいたり、目をみたりしながら聴く。</p> <p>3. かかわり 相手の話に対して、質問や自分の考え等をはさみながら聴く。</p>				
20	<ul style="list-style-type: none"> ・「三つの聴き方」を体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく体験が進まないペアが出た場合は、教師が入り三人でおこなう。また、複数生じた場合は、ペア替えをするなどの支援をおこなう。 		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・聴く体験後に、「話し手」の視点を含めた感想をペアで話し合い、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴き方によって、 <table border="1" data-bbox="975 1507 1366 1621"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の聴き手への気持ち ・話の発展性 ・聴き手側の気持ち など </td> </tr> </table> が変化することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の聴き手への気持ち ・話の発展性 ・聴き手側の気持ち など 	
<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の聴き手への気持ち ・話の発展性 ・聴き手側の気持ち など 				
振り返り	10	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、ワークシートに感想を記入する。 ・発表する。(全体で情報の共有をする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り際には、「これまでの自分の聴き方、これからの自分の聴き方」という視点を示す。 ・次回の活動へ意欲がもてるように、今回意欲的に活動していたグループを称賛する。 	

聴き方について学ぼう

名前 ()

1. 私はこんな人

- ①自分に当てはまらと思ったらチェック欄に○をつけよう！
- ②同じ欄に○が付いている人を探して、サイン欄にサインをもら
【5人のサインを集めよう！】

項目には、生徒が興味をもちそうなものを設定する。

項目		
・朝食はパンより断然ごはん派です		
・人気グループ〇〇〇のメンバーが何人いるかわかります		
・授業でいちばん好きな教科は、ズバリ英語です		
・室内で遊ぶより外で遊ぶ方が好きです		
・いちばん好きなフルーツはいちごです		

全項目に友達のサインをもらうことが目標であることを伝える。

2. 三つの聴き方

人の話には「聴き方」があります。話し手の気持ちは、聴き方によってよくて、どのような聴き方がよくないのか、聴き方について知りましょつ。

【聴き方の種類を知ろう】

A：壁のような聴き方	相手が話していることに対して無反応。よそ見をしながら、壁のようになって聴く聴き方。お父さんやお母さんに対してこの聴き方をしていませんか…？
B：相づちをうつ聴き方	相手の目を見て相手の話を聴いて、丁度いい間合いで相づちをうつ。「うん」「へえ」「そうなんだ」等。タイミングを間違わないように…。
C：自分からかかわる聴き方	Bの聴き方にプラスして、自分の感想や質問を話の間にはさむ。しっかり聴いて内容を把握していないとできませんね。

【実際にやってみよう】

「三つの聴き方」を二人組になって実際にやってみよう。

- ① 最初に話し手、聴き手を決める。(両方体験するので、どちらになっても大丈夫です。)
- ② **話し手**: 昨晚の出来事(夕飯、見たテレビ、勉強した内容、家族の様子等)を話してみよう。
聴き手: A、B、C3つの聴き方それぞれで聴いてみましょう。

【感想を書こう】

	A	B	C
話し手として			
聴き手として			

「今までの自分の聴き方、これからの自分の聴き方」という視点を示す。